（第57号：令和8年10月）

～こんにちは！東北農政局です～ 食品産業ニュースレター

こんにちは、東北農政局です。
10月も下旬となり、秋が深まり紅葉が美しい季節になりました。紅葉狩りなどに出かけてみるのも良いかと思います。また、10月30日は食品ロス削減の日です。私たちの身近なところでは、まだ食べられるにもかかわらず廃棄される食品が発生しており、この機会に意識して過ごしてみるのもいいかもしれません。

お知らせ1　はじめてのJAS～輸出編～参加申込受付中です！

農林水産省・一般社団法人日本農林規格協会は令和8年度社会的課題に対応する規格等の活用・普及推進調査委託事業の一環として、研修会「はじめてのJAS～輸出編～」を開催します。経験豊富な講師が有機食品の輸出を中心とした初心者の疑問にお応えします！この機会に是非ご参加ください。

対象者・日時

対象者：
有機品の輸出に関心のある事業者/個人・業界団体　等
日時：
令和8年11月27日(金) 14:00～16:10

（参加費無料）

プログラムの内容

14:00～15:00
・JAS制度のしくみと有機JASを中心とした輸出事例紹介

15:10～16:10
・有機JAS認証取得のながれと同等性を使用した輸出について



申込み方法

【WEB参加のみ】
お申込みフォーム↓よりお申し込みください。(WEB配信は Microsoft Teams を使用します。)
※ライブ配信URL 及び資料URL は開催日2日前までにメールにてご連絡致します。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSe1hJTGkuwhAjyxuvXmvWtmhXlt9rKb2V1EgP-M17oOIeBlVw/viewform

詳細はこちら ▶ https://www.jasnet.or.jp/custom314.html

お知らせ2　「GI産品とうまいものフェア」が開催されます！

令和3年からスタートした「GI産品フェアin東北」も6年目の開催となりました。今年は、GI登録された日本酒も販売される予定です。ここでしか出会えない希少な地域のお宝「GI産品」をお求めいただけるチャンスです。この機会にぜひお立ち寄りください！

日時・会場

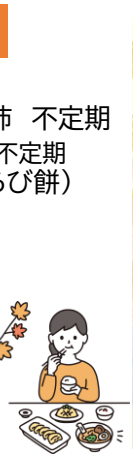
日時：
令和8年10月30日(金)10:00～18:30
令和8年10月31日(土)10:00～18:30
令和8年11月　1日(日)10:00～18:00

場所：
藤崎サンモール
一番町側玄関前特設会場
仙台市青葉区一番町3-2-17
※産地生産団体が直接販売する貴重な機会です。
※数に限りがございます。
※「二子さといも」「甲子柿」の販売は、10月30日(金)
　10月31日(土)の2日間となります。

試食・試飲できる産品

試食：
・青森の黒にんにく、甲子柿　不定期
・二子さといも(芋の子汁)不定期
・西わらび(作りたてのわらび餅)
　10月31日(土)14:00
　11月　1日(日)14:00

試飲：
・深蒸し菊川茶　　随時
・お酒のGI(岩手)　不定期
・お酒のGI(山形)　不定期





主な産品

・青森の黒にんにく(青森県)、二子さといも(岩手県北上市)、甲子柿(岩手県釜石市)、西わらび(岩手県西和賀町)、鹿沼在来そば(栃木県鹿沼市)、深蒸し菊川茶(静岡県菊川市)
・お酒のGI(岩手)、お酒のGI(山形)

お知らせ3　第14回「食品産業もったいない大賞」受賞者の決定！

第14回「食品産業もったいない大賞」の農林水産大臣賞、農林水産省大臣官房総括審議官（新事業・食品産業）賞、食品産業もったいない大賞審査委員会審査委員長賞の受賞者が決定しました。
表彰式及び受賞者による事例発表会を令和8年10月開催します。

概要

「食品産業もったいない大賞」は、食品産業の持続可能な発展に向け「省エネルギー・CO_2削減」、「廃棄物の削減・再生利用」、「教育・普及」等の観点から、顕著な実績を挙げている食品関連事業者並びに食品産業によるこうした取組を促進・支援している企業・団体及び個人を広く発掘し、その取組内容を表彰するものです。また、取組内容を広く周知することにより食品産業全体での地球温暖化防止・省エネルギー対策及び食品ロス削減等を促進することを目的としています。

審査の基本的な考え方

評価項目	具体的な評価事項
・先進性・独自性	他社の取組には見られない先進的な特徴や独自の方法等
・地域性	活動範囲の広さ、他社との連携、地域に密着した取組であるか等
・継続性	取組の開始時期、活動年数、継続できる取組であるか等
・経済性	取組を実施することによる経済効果等
・波及性・普及性	他の食品事業者への波及効果や消費者の環境意識の醸成等の効果
・地球温暖化防止・省エネルギー効果	取組を実施することによる地球温暖化防止・省エネルギー効果

表彰式・事例発表会の日時等

開催日：令和8年10月29日（木）15:30～17:10
場所：農林水産省（東京都千代田区霞が関1-2-1）

主催等

主催：公益財団法人食品等持続的供給推進機構
協賛：農林水産省
後援：環境省、消費者庁



詳細はこちら▼
https://www.ofsi.or.jp/mottainai/kekka14/

お知らせ4　令和7年度補正予算「産地連携支援緊急対策事業」第4次公募の開始について

令和7年度補正予算「産地連携支援緊急対策事業」の第4次公募についてお知らせします。食品製造事業者等が産地と連携する計画（産地連携計画）を策定した場合に、産地を支援する取組や産地との連携による国産原材料の取扱量増加に伴う機械設備の導入等を支援します。

対象者・公募期間

対象者：食品製造事業者
期間：令和8年10月13日（火）～10月30日（金）

補助率、補助金上限

補助率：1/2以内
補助金上限：1件当たり2億円（下限100万円）

主な補助要件

①産地連携計画の策定
②産地との連携による国産原材料の取扱量
　→10%以上の増加目標設定
③食料システム法の安定取引関係確立事業活動計画の認定又は認定が見込まれること
④産地連携フォーラムへの会員登録

詳細はこちら▼
https://www.lapita.jp/maff/sanchirenkei2026/

補助対象経費

●産地を支援する取組に係るもの

・種苗等の資材費
・機械設備等の導入費（収穫機・選別機等）
・栽培技術指導のための専門家・篤農家の派遣謝金、旅費
・生産作業補助のための社員等派遣旅費
・産地に設置する保管のための装置　等



食品製造事業者等による産地への機械・資材の提供等

●食品製造事業者の取組に係るもの

・機械設備等の導入費
・製造ラインの変更・増設費
・食品表示変更に伴う包装資材の更新費
・専門家経費（コンサルティング経費、旅費等）
・調査経費（マーケティング調査等）
・開発段階における原材料費　等


国産原材料導入のための製造ラインの増設


国産原材料を利用した新商品の開発

発行元お問合せ先
東北農政局　経営・事業支援部　食品企業課 仙台市青葉区本町3-3-1（仙台合同庁舎A棟）
TEL：022-263-1111（ダイヤルイン：022-221-6146）　E-mail：tohoku_shokuhin@maff.go.jp